

梶原町地域公共交通利便増進実施計画(第1次再編)

- 梶原町では公共交通網の利便性向上と利用の活性化に向け、さらに強力な実行性の向上を図ることを目的とし、令和8年4月に第2期公共交通計画を策定。
- 加えて、具体的なアクションプランとして、デマンド線の運行区域及び運行曜日拡大、ゾーンに応じたわかりやすい運賃制度への転換等を盛り込んだ本計画を策定することで、住民のニーズを捉えた、持続可能な公共交通ネットワークの構築を図る。

計画の概要

【策定自治体】高知県梶原町

【計画区域】梶原町全域

【計画期間】令和8年10月から令和13年3月までの5年間
年度ごとに再編の必要性を検証

主な事業内容・効果

①デマンド松谷・東向・上成線(デマンドにし線)の運行区域拡大

区域を拡大し、西区全体とすることで、これまで路線バスでしか移動手段がないものの、自宅ーバス停間において、高低差や距離の問題で利用が困難であった住民の新たな移動手段の確保に繋げる。

②デマンドおちめん線の区域拡大

これまで本町内のみであった運行エリアを久万高原町古味地区まで拡大することで、自治体間の移動需要の開拓を図る。

現状は、両町の各路線バスのダイヤが固定されており、古味地区以降(久万高原町中心部)への接続は困難であるが、今後、接続を可能にするダイヤ改正の協議を進め、両町中心部間のスムーズな接続を実現させることで、地域の移動需要のみならず、観光需要への取り組みも併せて図る。

③利用しやすい運賃の設定

高知高陵交通路線バスの町内運行区間において、運賃をゾーンに応じたわかりやすい運賃制度へ転換し、利用者の利便性向上を図る。

④デマンド線の運行曜日拡大(デマンドおちめん線、デマンドしまがわ線)

デマンドおちめん線とデマンドしまがわ線については、通院需要に応えるため新たに月曜日にも運行することとし、平日は毎日運行を行うことで住民のおかけ活性化に繋げる。

⑤デマンド線の運行曜日拡大(デマンドにし線)

デマンド松谷・東向・上成線(デマンドにし線)については、事業1の運行区域拡大と同時に、運行曜日を現在の水曜日のみの運行から月・水の週2回に拡大することで、既存利用者のさらなる利便性向上に加え、新たな利用者の定着を図る。

再編と併せて行う事業

⑥全ての人にわかりやすい情報発信及び快適な環境整備

町内の路線情報が網羅的にわかる交通ガイドの作成、情報発信、待合所整備等を行う。

⑦公共交通網の改善を目指して関係者が調整する場づくり

モードごとの接続や運行ダイヤ等を柔軟に議論できる場をつくり、さらなる利便性向上を図る。

